

DAITO ROTARY

OSAKA JAPAN

CLUB WEEKLY BULLETIN

第2660地区
大東ロータリークラブ

- 事務所
〒574-0046 大東市赤井1丁目2-10
ポップタウン住道本館4階
TEL:072-875-1200
FAX:072-875-0590
E-mail:office@daito-rc.org
http://www.daito-rc.org/
- 例会
毎週火曜日 12時30分~1時30分
〒574-0076 大東市曙町4-6
大東市民会館 4階「大会議室」
TEL:072-871-0001

◆4つのテスト◆

言行はこれに照らしてから

- ① 真実かどうか？
- ② みんなに公平か？
- ③ 好意と友情を深めるか？
- ④ みんなのためになるかどうか？



創立 1967年 12月 26日

- 会長 上田 正義
- 幹事 小川 芳男
- 会報委員長 杉原 巨峰

大東ロータリー会長テーマ

「今を生きる、そして未来につなげる」

2013年~2014年度
国際ロータリーのテーマ

ロータリーを實踐し
みんなに豊かな人生を

国際ロータリー会長
ロン・D・バートン

平成 25 年 8 月 6 日

No.2216

H25.7.30(No.2215 の例会記録)

今週の卓話 (8月6日)

「大東ロータリークラブオフィシャル HP について」

担当 空門 満也 会員

森岡 信晶 会員

次週の予定 (8月20日)

「プロジェクト3900 本腰を入れて、行動を起こそう!!」

担当 クラブ奉仕委員長 高島 登

地区クラブ奉仕・会員増強委員会 東村 高良 委員

先週の例会報告

◆ 出席報告 (7月30日分)

会員数 42名 出席数 33名 欠席者 3名

特定免除 6名 その他免除 0名

出席率 91.66%

前々回 7月16日分

ホームクラブの出席者 35名 92.10%

メイクアップの結果 38名

特定免除 4名 その他免除 0名

欠席者 0名 修正出席率 100.00%

ロータリーソング

「大東ロータリーソング」「四つのテスト体操」

ニコニコ箱

裏面に記載



御苦労様です。

7月23日第29回四條畷警察管内中学校対抗剣道大会それに伴う移動例会に多数の会員の方がご出席いただきまして誠にありがとうございました。

又、田川新世代奉仕委員長をはじめ多数の会員の方が剣道大会の準備の為、早くからお手伝いいただきまして感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



男子の決勝戦では、会場全体が見つめる中、気迫のこもった一戦で僅差の勝敗でもありました。勝者も敗者も日頃の成果を出し切ったすがすがしさがみられました。開会式の途中で、学生が倒れ救急車で病院に運ばれるアクシデントが発生しましたが大事に至らなくて安心いたしました。

来年は第30回の節目でもありますので、今回以上に盛大な大会が開催されます事楽しみにしております。

今、日本人が忘れてしている日本人らしさ、特に現在の若者に伝えたい教えがあります。全日本剣道連盟の「剣道修練の心構え」です。{剣道を正しく真剣に学び、心身を練磨して旺盛なる気力を養い、剣道の特性を通じて礼節をとるとび、信義を重んじ誠を尽して、常に自己の修養に務め以って国家社会を愛して広く人類の平和繁栄に寄与せんとするものである。} 日本の心であり「ザ、日本」そのものであります。ロータリー精神の教えにも、重なっているかと思えます。

若者と言えば、関西大学総合情報学部の谷本先生が平成25年6月28日～7月10日に大学生を対象とした新聞に関するアンケートを行い143人から得た回答によると、「毎日読む人」は26人(18%)だったのに対し「読まない人は」117人(82%)にも上ったそうです。

8割以上の学生が新聞を読んでいないのである。その理由を聞くと、「新聞を取っていない」が最も多く、次に多かった理由が「新聞を読む時間がない」でした。その他の理由では、「字が小さい」「字が多い」「内容が難しい」などが並びさらに「新聞を読む習慣がない」「興味がない」そもそも新聞を読まなくてもよいと考えている学生が多いようです。ニュースの閲覧や検索がより便利になったスマートフォンや情報を共有できる交流サイトの急速な普及やテレビからの音声だけの情報で、活字離れが進み、漢字のうる覚えが顕著にでています。又情報を意識して読んでないので記憶する事すら意識がないのです。「現在の首相の名前を漢字のフルネームで書いてください」とアンケートすれば、正解率は55%でした。「TPPの正式名称は何ですか」正解率は22%、答えは(環太平洋戦略的経済連携協定)。現在ITが進み非常に便利になったが、読み書きは、基本でありこれからの日本を背負っていく若者が心配であります。





委員会報告

- ・皆様、大変お世話になりました。
田川委員長ありがとうございました 上田 正義 君
- ・昨日は中野親睦委員長お世話になりました
早退おわび 薬物乱用防止指導員の講習に行きます 小川 芳男 君
- ・卓話させていただきます 感謝 樋口 秀和 君
- ・甲子園出場 応援感謝 自祝 森山 信一 君
- ・剣道大会お疲れ様でした 高島 登 君
- ・中野委員長おいしい場所ありがとうございました 大矢 克巳 君
- ・剣道大会ありがとうございました 田川 和見 君
- ・週末から IAC タイに行つて来ます 佐藤 多加志君
- ・佐藤委員長 大変お世話になりました 木村 克己 君
- ・親睦委員会食事会へのご参加ありがとうございました 中野 秀一 君
- ・親睦委員会第1回親睦会皆様ご参加有難うございました
会長幹事有難うございました お腹が痛いです 東村 正剛 君
- ・徳山さんありがとうございました 感謝 空門 満也 君
- ・23日剣道大会ご苦労さまでした
桐蔭甲子園出場おめでとうございます 東野 喜次 君



◎新世代奉仕委員会

田川 和見 委員長

23日の剣道大会ありがとうございました。朝早くから設営を手伝って頂きありがとうございます。無事終了したことはもちろん、試合の中で勝った喜びや少しの差で負けた悲しみなどいろいろな場面が見られ有意義な大会でした。

来年は30周年と記録大会ですので、よりいっそう頑張つて行きたいと思ひます。

◎ゴルフ同好会

キャプテン 大矢 克巳

今回週報に予定を載せておりますが、ゴルフ同好会第1回は9月12日に変更ですのでよろしくお願ひ致します。多くの会員の方が同好会の会員になっていただき感謝致します。

◎歩こう会

キャプテン 大西 寛治

8月24日、大峰登山を今年も行います。例年のように早朝4時出発し、昼過ぎ2時頃には帰つてくる予定です。1年の無事と健康の感謝を込めて歩きましょう！





「中小企業の経営健全化の施策」

樋口 秀和 会員

I. 中小企業金融円滑化法の終了により、中小企業の倒産が懸念されており、事業再生が必要な企業が増えることが予想される状況である。

II. 中小企業の事業再生を支援する担い手として現在は、

1. 全国の中小企業再生支援協議会

2. 認定支援機関

3. 地域経済活性化支援機構（企業再生支援機構を 25.3.18 に衣替えした）が存在している。

①再生支援協議会が発足したのは、平成 15 年で、中小企業の再生を目的として、全国 47 都道府県に 1ヶ所ずつ設置された。事業再生に関する豊富な知識と経験を持った専門家が再生計画の策定支援を実施してきた。

②再生支援協議会の基本方針は、公正中立な第三者機関として①財務事業の検討②再生計画の策定③債権者間の合意、などを支援することである。この方法では、債権者間の合意に達するまでに 1 年以上のかかるケースが多かった。

③中小企業の経営改善支援をさらに、よりスピード感を重視した支援スキームとして、全国の中小企業再生支援協議会内に新設されたのが、経営改善支援センターである。要するにこのセンターができたことは、中小企業再生支援のメニューが増えたことになる。

III. 中小企業経営者に財務経営力を身につけてもらい、実現性の高い抜本的な「経営改善計画書」を策定する担い手として「認定経営革新等支援機関」が設けられた。

1. 認定支援機関とは、2012 年 8 月に「中小企業経営力強化支援法」が施行され、この担い手として主務大臣に申請して認定された個人又は法人である。

2. 主な認定基準としては、

①税務：金融 企業の財務に関する専門的知識を有していること。

②支援に関わる実務経験を一定程有していること。

③長期かつ継続的に支援事業を実施するための体制を有していること。

3. 中小企業の内外の厳しい企業間競争を勝ち抜いていくためには、「戦略的経営力」を強化することが必要であると考えられるようになり、国の中小企業政策が変化してきた。そのための方策として、財務経営力を経営者につけてもらうために、国として「中小会計要領」と「認定支援機関」が考え出された。

IV. 認定支援機関が支援対象としている中小企業の企業再生の手法には、いろいろあるが大別すると、





①財務リストラ 過剰債務を減らすこと

a.不動産等の売却 b.D.E.SやD.D.S等の活用 c.エクイティーの導入

②事業リストラ 事業の選択と集中

a.M&A b.第二会社方式

③業務リストラ

a.売上原価の低減 b.販売費一般管理費等の削減

貸借対照表にポイントを置き、債務超過の解消と有利子負債の償還を果たせるように、経営改善計画書は、実現性の高い抜本的な計画書でなければならないが、要するに事業再生が成功するためには「営業利益」を生み出せることが大切であり、資金の流出が止まることである。

V. 経営改善計画が作成されると中小企業経営者は認定支援期間と一緒に金融機関との協議に入る。

1.そこでは、債務超過を解消することができる経営計画になっているかどうか、及び、有利子負債の償還が確実にできる計画になっているかが協議することになる。

2.過剰債務で事業の継続が困難になっているような場合、メインバンクに対してD.D.S（劣後ローン）に変えるようにしてもらうか、他の金融機関に対して返済期間をどの程度延ばしてもらえるかを協議して各金融機関から合意してもらおうようにする。

※D.D.S デット・デット・スワップとは、金融機関が融資先への貸出金を「劣後ローン」に変えることである。

※D.E.S デット・エクイティー・スワップとは、借入金をエクイティーに変えることである。

3.その上で、「経営改善計画書」を作り、それを経営者と認定支援機関と連盟で経営改善支援センターに、同事業の利用を申請すれば、補助金が支給される。「利用申請書」を提出し、計画策定にかかる費用の3分の2を国が負担することになり（上限200万円）、これによる対象企業が2万社以上になると予想されている。

4.その後、認定支援機関は進捗状況を定期的にモニタリングして、その結果を経営改善支援センターに報告する必要がある。

VI. 日本政策金融公庫の施策

1.経営者本人の個人保証を不要とする融資制度

中小企業の経営内容に応じて、経営面や財務面について財務制限条項の約束が出来ること。

2.売掛債権や在庫を活用した融資

中小企業者が有する売掛債権や在庫を担保として融資に信用保証協会が保証を行なう。

3.直接金融による多様な資金調達





特定社債保証制度（私募債保証制度）

VII. 企業再生を実現させるための大切なポイントは、

1. 経営者が絶対に企業を復活させるのだという強い意思があること
2. 良き相談者が存在すること
3. 会社が営業利益を出せる状態になりメインバンクの協力を得られるようになること
4. 経営改善計画の策定と月次決算体制の構築をすること

グローバル補助金奨学生 宮尾 真梨子さん

大東ロータリークラブ御中

平素よりお世話になっております。

遅ればせながらではありますが、ご報告のメールを送信させていただきます。

渡米してから約1か月が経ち、ようやくアメリカでの生活にも慣れ始めてきているところです。初めての海外長期滞在、初めての一人暮らし、初めての留学生生活も、周りの方々のご協力をいただきながら順調に始めることができている。モントレイについての初日には、モントレイロータリークラブの会員で、同RCの会長もご経験なされた和田 洋様にお会いし、ご親切にもたくさんの相談にのっていただいた上、日用品や電化製品など様々な生活用品をご提供していただきました。

また、現在通っているサマーコースではおよそ10か国の国々から学生が集まり、大学院の授業に向けた英語の集中講義を行っております。なかなか思うように話せないのが苦戦しておりますが、できるだけ毎日多くの方と話すように心がけ、日々英語力の向上に励んでいます。英語の勉強の傍ら、多くの文化や背景を学ぶことができるので、とても充実した生活を送ることができています。



この機会を与えていただいていることに心より感謝するとともに、奨学生にふさわしい1年半の学生生活を送れるよう、日々邁進していきたいと思っております。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

添付の写真は、国際ロータリー第5230地区、今年度のガバナーである Blanhenship ご夫妻にお食事にご招待いただいたときのものです。とても気さくな方々で、素敵なご夫妻でした。

では、またご報告のメールをさせていただきます。

